

運転技能予測に有効な海外検査の翻訳キットを開発しました。

日本版脳卒中ドライバーのスクリーニング評価 (J-SDSA)開発のご報告

リハビリテーション分野において、脳卒中後に運転再開を希望される方に対して、安全運転が可能かどうかを評価する方法は難しい問題でした。今回、脳卒中患者様の運転技能を評価する検査キット「脳卒中ドライバーのスクリーニング評価 日本版(J-SDSA)」を開発いたしました。

SDSA はイギリス、ノッティンガム大学の Nouri & Lincoln 博士らによって 1990 年代に開発されました。多くの研究でその信頼性が確かめられており、開発から 20 年以上経った現在も運転技能予測に関する代表的な検査バッテリーとして知られています。その信頼性から国際的な検査バッテリーへと発展してきており、原著国のイギリスを初め、ノルウェー、スウェーデン、オーストラリア、イスラエル、アメリカ等、世界各地で翻訳版が開発されています。2011 年に Neurology に掲載された論文では、SDSA は数ある検査の中で現時点にて運転技能予測に最も適している可能性を報告しています。

2012 年に当院にてノッティンガム大学の Lincoln 博士から日本版作成の許可を受け、開発に着手しました。その後、多くの施設から J-SDSA 開発に賛同頂き、最終的には協力慶応義塾大学病院 副院長三村 将教授のご指導を受け、14 施設が参画する共同研究へと発展いたしました。本年 12 月に無事開発が終了し、神経心理検査キット販売の最大手である新興医学出版より販売を開始いたしました。

脳卒中患者様の運転再開には個人の権利と公共の安全の両立が求められる事から、慎重な判断が必要となります。J-SDSA が臨床場面で活用され、このような問題でお悩みの臨床家・患者様のお役に立てれば幸いです。

これまで北京・横浜で行われた国際学会にてその有効性を報告しており、2 月にはフィリピンで行われるアジアオセアニアリハビリテーション医学会で報告予定です。現在も全国で多施設共同研究が行われており、今後有効なデータをご報告できるよう努めてまいりたいと思います。

最後となりましたがデータ収集にご協力いただいた患者様・ご家族の皆様にご感謝申し上げます。

脳卒中ドライバーの スクリーニング評価 日本版

Stroke Drivers'
Screening Assessment

SDSA

Japanese Version

著

NB Lincoln, KA Radford, FM Nouri

監訳

三村 將
仲秋秀太郎

訳

加藤貴志
椎野恵美

